

# ようきてちょーた瀬戸!

編集:瀬戸市おもてなしボランティア  
季刊誌作成チーム  
発行:瀬戸市 まるっとミュージアム課

No.28 2014. 2. 1.

## まあひゃあー 瀬戸のお雛さま特集でえ〜す 手作りの陶芸品 土の魅力

瀬戸の春はピラミッド型巨大ひな壇「ひなミッド」を始め、やきもの・ガラスなどで作られた雛飾りが街を彩り、商店街にも雛人形が飾られます。ひなまつりの楽しみは、飾り付けられた雛壇の前で、子供達は晴れ着姿で、ご馳走を食べたり、友達と遊んだり……。



やきもののみち瀬戸では、やきものなどの創作雛を楽しむ事ができます。その一つ、陶器のお雛さまの魅力は手づくりで温かみのある土の感触ではないでしょうか。

飾るのに広いスペースを必要としない、季節にこだわらず年中楽しめる、変色しない、インテリアとしても使えると言うことも魅力です。瀬戸には多くの陶芸作家・窯元があり、伝統の技に裏付けされた瀬戸の陶器のお雛さまは見て回るだけでも充分堪能できるものと思います。



陶器のお雛さまが最も盛んに作られたのは昭和50～60年代で、終戦直後に子供時代を過ごし、人形などをあまり買って貰えなかった中年層が今になって自分専用として買い求める事もあります。



立雛

©版画:水野アーさん



素材となる粘土・ガラスの原料に恵まれた環境で多くの作家が活動し、伝統の技術に支えられた技の魅力がそこにあります。九州の有田で行われた「陶ひなコンテスト」で最優秀賞を受賞した陶芸作家も住む瀬戸の陶器のお雛さまは、ハイレベルの物と称賛されています。



## 「第2回 陶ひなコンテストin有田」で最優秀賞を受賞

### 亀井 桂子さん

佐賀県・有田町の町おこしで開催されている「陶ひなコンテスト」で、平成25年の「最優秀賞」を受賞した亀井さんの作品は、着物は色付けした薄い粘土を張り合わせ、淡い色で陶器の落ち着いた雰囲気を持った作品です。ノベルティなどの華やかさと違った陶器の素朴さ、土の色の美しさが出ていました。

また、亀井さんは瀬戸の技術があれば同コンテストで良い成績が出せるので、瀬戸の作家へコンテストへの出品を勧めていました。



最優秀賞受賞作品の姉妹作品



## “ひなまつり” 今昔物語

### 「桃の節句」のルーツは中国

古代中国では、3月初めの巳の日は邪気が来る日とされ、水辺で体を清め、桃の花を浮かべた「桃花酒」を飲み、邪を祓う習慣がありました。やがて3月3日が桃の節句となり、日本に伝わりました。

日本には古くから紙で作った「ひとがた」に息を吹きかけ体をなでて、川に流す民間信仰があり、鳥取県に残る「流し雛」の風習はその名残です。それに加え平安貴族の間で行われていた行事「<sup>きまぐすい</sup>曲水の宴」や、貴族の娘たちの人形遊び「<sup>ひな</sup>雛遊び」が結びつき現在のひなまつりになりました。

### 現代のひなまつり

このひなまつりの名残が雛の膳として、白酒、蛤のお吸い物、菱餅が供えられるようになりました。菱餅の緑は新緑を表し邪気を祓う、白は雪で清浄を、桃色は桃の花で厄除けを表します。

近頃では住宅事情もあり、男雛・女雛一対の「内裏雛」が一般的です。また、一年間の世相を映す変わり雛が人気で、今年の変り雛は「半沢直樹雛」、「あまちゃん雛」、楽天投手の「田中将大・里田まい雛」、「アベノミクス雛」、「三浦雄一郎雛（最高齢登頂）」、「世界遺産雛」が登場します。



旧来、お雛さまは女子の誕生と成長を祝って婚家側があつらえるものでしたが、近頃では、女性が自分だけのお雛さまを買い求めることも多くなっているようです。

### ◆吊るし雛

変わり雛の一種で縁起物として各地で作られています。御殿飾りの雛人形が高価で、一般庶民には手が届かない時代、祖母などが嫁入り道具の着物を崩し、孫や娘の成長を願って作った事が全国に広がり「吊るし雛」となりました。

飾り物は桃（長寿）・猿っ子（魔除け）・三角（薬袋）を基に、米俵・打ち出の小槌・小判等、子供の成長に必要な物を吊るしました。3・5・7の奇数を大切に五列の赤い紐にそれぞれ11個の飾りで

### 私のお雛さまの思い出

家のお雛さまは京雛風の御殿雛でした。お内裏さまにお雛さま、三人官女、右近の橘、左近の桜と五人囃子。お菓子は鏡餅を炒って焼いたあられに白酒、ちらしずしとおこしもちなどを飾っていました。

小さな頃は、何も分らずお雛さまの首と三人官女の首をすげ替えたり、冠を自分でかぶってみたり、いま思うと怒られても当然なことをたくさんしていました。これは、雛人形を買ってもらった姉への嫌がらせ？二女のひがみ？か分かりませんが、後で聞いた話では、私にはガラスケースに入った「富士娘」を買ってくれたそうです。

そのお雛さまも、私が成人式を迎えるころまで役目を果たしてくれました。本当に本当にお雛さまごめんなさい。そしてありがとうございます。ありがとうございました！



K. H



せと末広亭の吊るし雛（せと末広商店街）

55個、これに対して110個を基本とするなどの記述もあります。

「陶のまち瀬戸のお雛めぐり」期間中は、瀬戸蔵・パーティせと・せと末広亭でご覧いただくことができます。

## ◆新世紀工芸館

### 石橋 和法さん、松下 祐子さん、植村 宏木さん

瀬戸の街の特性を活かし、新世紀の産業・芸術・文化の発展を図る目的で開設された瀬戸新世紀工芸館でガラス工芸を学び、工芸作家を目指す三人の研修生に話を聞きました。ここに来た動機や将来の夢などに続き、ガラスの魅力、ガラスで作品をつくることについて話してくれました。

原料が豊富、工芸館がある瀬戸の環境を見込んで入館。ガラスの新しい使い方を模索しながら、瀬戸の伝統技術を学び、色々なことを表現し、自分の夢を実現したいです。

ガラス作品は、冷を求めて夏向きの感が強いですが、冬場のクリスマスに向けての作品も期待できるので勉強したいです。

ガラスの特性は透明性や柔軟さであり、吹き込みや削り出しの技法以外の加工にも挑戦し、器物主体から外れた季節小物・オブジェなども作りたいです。春にはガラスの雛人形もひなミッドに飾りますので、是非ご覧ください。

お問い合わせ／新世紀工芸館 TEL:0561-97-1001



石橋さんの作品



松下さんの作品



植村さんの作品

## ◆マルチメディア伝承工芸館-瀬戸染付研修所-

### 喜田 みのりさん



喜田さんの作品  
（掛花入れ）



お問い合わせ／マルチメディア伝承工芸館-瀬戸染付研修所-  
TEL:0561-89-6001

マルチメディア伝承工芸館で研修中の名古屋市出身、喜田みのりさんは、瀬戸染付の静かな雰囲気の魅力を感じ、それを自分の手で作りたい、と研修所に入所されました。ろくろ成形から、染付（絵付）、焼成を経て、窯の扉を開け、

完成した器を見るのが一番うれしいそうです。

2年目の今年は器を男雛、女雛に見立て、染付で雛の装いを表そうと構想を練っているとのこと、どんなお雛さまになるか、ひなミッドに注目してみましょう。

## ◆瀬戸の「おこしもの」

瀬戸では、桃の節句に「おこしもの」をお雛さまに供えます。これは愛知県の尾張、三河の一部で昔から桃の節句に供えられた伝統的なお菓子です。「おこしもん」「おしもん」「おしもち」とも呼ばれ、熱湯でこねた米粉を鯛や扇などの木型に押し付け、蒸し器で蒸し、食紅で着色して作ります。餅のように焼いたものや蒸したたてのものを砂糖醤油につけて食べます。



上水野町の米泰（こめひろ）で1年を通して作られており、道の駅「瀬戸しなの」などで売られています。

お問い合わせ／道の駅瀬戸しなの  
TEL:0561-41-3900



おこしものと木型



## 第13回 陶のまち瀬戸のお雛めぐり

2月1日(土)から3月9日(日)の約1ヶ月間、「陶のまち瀬戸のお雛めぐり」が開催されます。期間中は、瀬戸蔵、パルティセと、中心市街地各商店街、無風庵などで各種催しが行われます。

### ◆ひなミッド

瀬戸蔵1階にピラミッド型巨大ひな壇「ひなミッド」が展示され、約1,000体の陶磁器やガラスのお雛さまがご覧いただけます。(写真)

### ◆みどころガイドツアー

土・日・祝日には、瀬戸のお雛めぐりに訪れたお客様にボランティアが見どころをご案内し、瀬戸の魅力をお伝えします。(無料)

【みどころガイドツアーコース】

瀬戸蔵→無風庵→古民家久米邸→銀座通り商店街→せと末広商店街→新世紀工芸館

### ◆お雛ランチ&お雛スイーツ

お雛めぐりチラシに掲載されたお店で期間限定のお雛ランチ、お雛スイーツをお楽しみいただけます。



### ◆お雛さま作り体験

毎週末には瀬戸蔵で「お雛さま作り体験」が行われます。絵付けや手びねりなど、さまざまなお雛さま作りが体験できるので、自分だけのお雛さまを作ってみませんか。(当日受付・有料)



～ひなミッド～

ひなミッドに展示されている人形は数が多く圧倒されますが、形のユニークさ、絵付けの美しさ、お顔の優しさ、技法の多彩さなど、少しポイントを変えて見てみれば、必ず自分の感性に響いてくれる作品があるはず。じっくり鑑賞して、作り手の思いを感じてみてはいかがでしょうか。

### ◆ひなミッドとノベルティ

瀬戸では「陶磁器製の置物や装飾品の総称」のことを「ノベルティ」とよんでいます。

一番の見どころである瀬戸蔵の「ひなミッド」に展示されている作品にもこの「ノベルティ」づくり

の技術が活かされています。お雛さまの表情や体のづくりなど、その繊細な技術には驚きです。

瀬戸のメーカーのお雛さまと窯元・作家の手づくり雛、または全国から集まった他産地のお雛さまを見比べてみるのもひなミッドの楽しみのひとつです。



### 《知り～ず「瀬戸の陶壁」その5



### 「夢と希望と瀬戸のまち」

陶祖公園入り口(国道248号線沿い)にあるこの陶壁は、瀬戸青年会議所の企画で、市内の中学生の原画を下に「焼き物のまち瀬戸」として、誇りを持って語ることができ、個性的で潤いのある街となる願いを込めて制作されたものです。

1984年8月 幅22m×高さ6m

\*この季刊誌「ようきてちよーた瀬戸!」は、瀬戸市おもてなしボランティアの季刊誌チームメンバーが、ボランティアの目線で瀬戸の観光情報取材し、作成しています。ぜひ、誌面に対するご意見・ご感想を事務局までお聞かせください。

《瀬戸市おもてなしボランティア事務局》

瀬戸市役所 まるっとミュージアム課 〒489-0813 瀬戸市蔵所町1番地の1

TEL: 0561-88-2541 FAX: 0561-97-1557 HP: <http://www.seto-marutto.info/>

